

夢を描き、実現できる子どもの育成

～子どもたちが自分の好きなことをより好きに～

夢に向かって挑戦する力

① 夢や目標に向かって挑戦する力の育成

- 小学校からのキャリア教育の充実と体験活動を重視した取組
- 「暗記のすすめ学」による社会においても必要とされる自分の思いや考えを表現する力の育成

基礎基本の定着

活用力・表現力の育成

② わかる授業に向けた授業改善

- 協調学習における主体的・対話的で深い学びの授業実践の推進
- 「めあて・課題、まとめ・振り返り」を位置付けた「わかった！できた！」を実感する新大分スタンダードに基づく子ども主体の授業づくり
- 子どもたちにつけたい力（評価規準）を明確にした1時間の授業づくり及び単元構成
- 教員の教える場面と生徒が考える場面を明確にした授業構想
- **単元テスト、定期テスト等でつまずきの把握とやり直しの徹底。**
できていないところをそのままにしない指導
- **リアル(紙)とデジタル(タブレット)を効果的に活用し、書く活動の機会を保障する**
- 「まなびの扉」による教職員オンライン研修（特別支援教育、協調学習等）
- 学校の規模に応じた授業形態・個別最適な学びの推進
(アウトプット型授業、個別指導、補習授業、教科担任型授業等)

③ 家庭学習との連動

- 家庭学習における効果的な ICT 機器の活用
(デジタル教科書・ドリルパーク等の活用)